

定期予防接種

◎ 個別接種◎

▷ 予防接種市内指定医療機関にて無料で受けることができます(予防接種の市内指定医療機関参照)。

▷ 1年を通じて接種できるので、接種対象の月・年齢に達したら受けてください。予約が必要な医療機関もあります。

※ 月・年齢は予防接種を受ける日の満年齢です。

【例】 平成27年4月1日生まれの子どもが、四種混合予防接種を接種できる日はいつまで？

→ 平成27年6月30日～令和4年9月30日 (令和4年10月1日以降は接種できない)

▷ 持物 母子健康手帳、子ども医療証および健康保険証 ※ 予診票は各医療機関に備えています

予防接種名		対象年月齢	回数	標準的な接種間隔(接種可能な間隔)
◆ ロタ	ロタリックス (1価)	生後6週～24週未満 (標準的な接種期間:初回接種は 生後2か月～生後14週6日まで)	2回	27日以上の間隔をにおいて2回経口接種
	ロタテック (5価)	生後6週～32週未満 (標準的な接種期間:初回接種は 生後2か月～生後14週6日まで)	3回	27日以上の間隔をにおいて3回経口接種
◆ BCG		生後3か月～12か月(1歳)未満 (標準的な接種期間は 生後5か月～8か月未満)	1回	
◆ ヒブ	I期初回	生後2か月～60か月(5歳)未満 (標準は7か月未満で接種開始) 7か月以上で接種を開始する場合は 接種回数が異なります。詳細は接種 時に医師にご相談ください。	3回	27～56日(20日以上)
	I期追加		1回	I期初回3回目接種後7か月以上13か月未満 (7か月以上)
◆ 小児用肺炎球菌	I期初回		3回	27日以上
	I期追加		1回	I期初回3回目接種後60日以上かつ1歳以上
◆ B型肝炎		生後2か月～12か月(1歳)未満	3回	27日以上の間隔で2回 初回接種から139日以上あけて1回
◆ 四種混合(DPT-IPV) (ジフテリア・百日咳・破傷風・ 不活化ポリオ)	I期初回	生後3か月～90か月(7歳半)未満	3回	20～56日(20日以上)
	I期追加		1回	I期初回3回目接種後12か月以上18か月未満 (6か月以上)
◆ 麻しん風しん混合 (MRワクチン)	I期	生後12か月(1歳)～24か月(2歳)未満	1回	
	II期	小学校入学前の1年間(年長児の間)	1回	
◆ 水痘(水ぼうそう)		生後12か月(1歳)～生後36か月(3歳)未満	2回	6か月～12か月未満(3か月以上)
◆ 日本脳炎	I期初回	生後36か月(3歳)～90か月(7歳半)未満	2回	6～28日(6日以上)
	I期追加		1回	I期初回2回目接種後おおむね1年後(6か月以上)
	II期		1回	9～13歳の誕生日の前日まで
特例対象者※1	◇平成14年4月2日～平成19年4月1日生まれで20歳未満の人 全4回接種のうち不足回数を定期接種として接種できます。※20歳の誕生日の前日までしか定期接種として接種できません。 ◇平成21年4月2日～平成21年10月1日生まれで13歳未満の人 I期の不足している回数をII期の定期接種の期間(9歳以上13歳未満)で定期接種として接種できます。			
◆ 二種混合(DT) (ジフテリア・破傷風)	(四種混合・ 三種混合の) II期	11～13歳の誕生日の前日まで	1回	
◆ 子宮頸がん予防※2 (HPVワクチン)		小6～高1相当の女子 (平成18年4月2日～平成23年4月1日生)	3回	

※1 平成17～21年度の日本脳炎の予防接種の積極的勧奨の差し控えにより接種を受ける機会を逸した人に接種。

※2 子宮頸がん予防ワクチンはワクチンの種類によって接種間隔が異なります。詳細は接種時に医師にご相談ください。

接種の間隔について

○ 注射生ワクチン(BCG・麻しん風しん混合・水痘)から次の注射生ワクチンまでは27日以上あけて接種してください(4週間後の同じ曜日には接種可能です)。

予防接種の注意事項

- お子さんの体の調子が良いときに受けましょう。
- 個別通知はありません。
- 受け方がわからないとき、心配のあるときは、主治医または子育て応援課にお問い合わせください。
- 母子健康手帳をお忘れの場合は接種できません。